

AMDAがペルー沖 地震緊急医療活動を開始



石井 正

石井正三常任理事は、

AMDA (Association of

Medical Doctors of

Asia:一九八四年に設立

された国際医療
ボランティア組
織)が、日医と
連携を取り、ペ
ルー沖地震緊急
医療活動に対す
る支援を開始し
たことを公表し

ペルーでは、八月十五

日の午後(日本時間十六

日午前)にマグニチュー

ド八・〇の地震が発生。

死者五百十人、負傷者数

千五百人を超えるなど、

大きな被害が出ている。

この状況を踏まえて、A

M D Aでは、第一次緊急

医療チームの派遣を決

定。日医がその活動の支

援をすることとなった。

A M D Aからの報告に

よると、十八日に日本を

出発した第一次緊急医療

チームは、十九日に首都

リマに到着。二十日の夕

刻からは、被災地のサ

ン・ホセ・デ・ロスモリ

スで、新潟県中越沖地震

の際と同様に、日医の腕

章を付けて、緊急医療支

援活動を開始したとい

う。また、今後は、A M

D Aポリビア支部からも

医療チームの派遣を求め

るとしている。

記者会見のなかで、同

常任理事は、今後もA M

D Aの緊急医療活動を支

援していくとの考えを示

すとともに、ペルー医師

会とも連絡を取り、今回

の支援活動に対して連携

が図られるよう依頼した

ことも明らかにした。